

事務事業評価における総括

部 局 名	教育総務部	記入責任者	前田 典康
評価について（現状と課題）			
<p>【事業の達成状況について（現状）】</p> <p>教育総務部の政策的事業は、26 事業のうち 19 事業で指標を達成し、S 評価としていることから、おおむね順調に進捗しています。しかし、成果はあがったものの目標値を達成できず A 評価としたものが 4 事業、実績なしと評価したものが 3 事業あることから、政策・施策目標の達成に向けて、再度事業の見直しを行う必要があります。</p> <p>教育総務課の業務計画に位置付けられた小中学校の大型備品等の整備については、限られた予算のなかで実施手法を見直したため、A 評価としています。また、教育施設課の小中学校の大規模改修、学務課の学校施設改修等整備等については、未実施のため実績なしとしています。</p> <p>【達成できた（できなかった）要因についての分析（課題）】</p> <p>A 評価とした小中学校の大型備品等の整備については、児童・生徒の老朽化した机・椅子の更新のために買い換えを前提として目標値を設定しましたが、机の天板や椅子の座面などの修繕や転活用を行うことで一部対応したため、事業指標は達成できなかったものの、一定の成果をあげることができました。</p> <p>また、実績なしとした事業については、予算化できなかったことが要因ですが、小中学校大規模改修整備事業については、学校施設の経年に伴う老朽化は日々進んでおり、不具合箇所が多くなっていることから、施設整備事業や補修（小規模修繕）のなかで、安全を最優先に補修や修繕工事を実施しました。</p>			
今後の方向性			
<p>【政策・施策目標の達成に向けた今後の方向性について】</p> <p>各小中学校における新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策に資する事業については、引き続き進めていくとともに、学校の業務についてより一層きめ細やかな支援を行っていきけるよう、様々な視点から学習環境整備等の学校支援を行います。</p> <p>「茅ヶ崎市新型コロナウイルス感染症対策政策パッケージ」における市税減収対策のため、内部管理事務など様々な業務の水準を見定めながら、事業実施の手法を再検討する中で、教育行政の効率的・効果的な運営を推進するための体制づくりに努めます。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が市内業者等にも及んでいることから、経済対策という面も考慮しつつ、必要性や緊急性を勘案し、必要な施設整備等ができるよう取り組んでいきます。</p> <p>今後、不測の事態が発生した場合でも子どもたちの豊かな学びが保障できるよう、これからの学校の新しい生活様式の在り方について、各学校と連携をさらに深め検討を進めます。</p>			